

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、WEB のみの開催とするなど、開催方法を変更する場合があります

沼津まちなかデザイン会議

> 中心市街地まちづくり戦略 <

- Vol.5 -

Cross
×
Talk



PLAYER : 鈴木智博氏

合同会社 REIVER 代表 / TINY STAND 代表



GUEST : 熊谷玄氏

株式会社スタジオゲクマガイ代表取締役
一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟理事

1986年東京生まれ東京育ち。東京・ジャカルタで建築設計業務に従事したのち、「第3回リノベーションスクール@沼津」に参加して木製屋台ブランド TINY STANDを開発。2019年合同会社REIVER(レイバー)を設立。都市・まち・建築に関わるデザインによるコミュニティの再構築を目指し、空間設計やプロジェクトデザインに取り組む。2019年 沼津市戸田にまちづくり拠点としての宿泊施設「タゴール・ハーバー・ホテル」、2021年に珈琲焙煎所「アーキペラゴ・ロースタリー」を開業、同年に空きビルを活用した沼津市のまちなか居住推進事業をプロデュース。2022年秋に「OPEN NUMAZU 2022 ARCADE」を実施。

1973年横浜生まれ。ランドスケープデザイナー。現代美術作家Studio崔在銀のアシスタント、earthscape inc.を経て、2009年3月よりSTGK Inc. (株式会社スタジオゲクマガイ) 代表。ランドスケープデザインを中心に、人の暮らし風景のデザインを行なっている。愛知県立芸術大学(2011年～)、東京電機大学(2017年～)、千葉大学(2018年～)にて非常勤講師を務める。主なプロジェクトとして、横浜市・左近山回地みなのにお、横浜市・元町商店街・パークレットなど、地域の方々と共に公共空間における居場所づくりを実践。

● プログラム

- ① 「OPEN NUMAZU」とは
- ② PLAYER TALK : 「OPEN NUMAZU 2022 ARCADE で生まれた風景」
- ③ GUEST TALK : 「商店街における居場所づくり」
- ④ CROSS × TALK
「沼津の商店街のこれから」をみなさんと考えます



OPEN NUMAZU 2022 ARCADE

沼津市では、「中心市街地まちづくり戦略」に基づいて、沼津駅周辺総合整備事業を契機とした、ヒトが歩いて回遊し、居心地よく過ごせる、“ヒト中心のまちづくり”を推進しています。今回はその一端を担い、2022年秋に仲見世商店街で実施した「OPEN NUMAZU」の実施結果を紹介するとともに、全国の商店街等の公共空間で地域の方々と居場所づくりに取り組むゲストのお話を伺いながら、“沼津の商店街のこれから”を考えていきます。

● 開催日時

1/24 (火)

時間 : 19時 ~ 21時



> 参加受付フォーム <
QRコードより申込下さい
受付は 1/23 12:00 まで

定員 : 50名程度 (無料・事前申込制・先着)

主催 : 沼津市 問合せ先 : 都市計画部 まちづくり政策課都市計画係

E-Mail : mati-seisaku@city.numazu.lg.jp

TEL : 055-934-4760

※市へのメール・電話でも参加受付可能です。

● 会場

大手町会館 2階 大ホール (沼津市大手町3丁目5-16)

